

<出題の意図>

第1問の課題文はアメリカの図書館の地域における役割に関するものである。社会の諸課題を解決するためには、自国の実情だけでなく、他国の実情を知ること重要である。問1、問2は、本学で学ぶのに必要な日本語運用能力を身に付けているかどうかを問う問題である。問3は、根拠に基づいて筋道を立てて考え、文章としてまとめることができるかどうかを問う問題である。

第2問の課題文は生成AIに関するものである。現在、生成AIの是非が世界中で話題となっている。問1は、社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考えて、文章としてまとめることができるかどうかを問う問題である。問2は、自分の意見を論理的にまとめられるかどうかに加えて、国際学部の専門分野に積極的に取り組むことができるかどうかを問う問題である。

<解答（解答例及び評価ポイント）>

第1問

問1（4点×5）

- ①公共図書館 ②76 ③低さ ④ピュー・リサーチ・センター
⑤大いに信頼する

問2（5点×3）

- (a) 人々や組織の幅広いつながり(13字)
(b) 結果を決める重要なポイント(13字)
(c) 必要な情報を入手すること(12字)

問3（15点）

解答例省略。アメリカの図書館に対して、住民の信頼感が高く、評価、支持も高いことを本文の具体例等をまとめながら述べられているかどうかを評価する。

第2問

問1（20点）

解答例省略。評価のポイントは、以下の①から③のとおりである。

- ① 個別的な情報の正確性に欠けることや事実と反する偽情報を生成する可能性について述べられていること。
② 政治的なプロパガンダに利用される可能性について述べられていること。
③ プライバシーやセキュリティー、著作権が侵害されてしまう可能性について述べられていること。

問2 (30点)

解答例省略。評価のポイントは、以下の①と②のとおりである。

- ① 本文で紹介されている以外の生成 AI の用途について具体例が述べられていること。
- ② 生成 AI と今後の社会のあり方について論理的に考えが述べられていること。